

No.783 February 2022

ASAHI MACHI

Public Relations

広報 あさひまち

2022

2

No. 783

出会いをつなぐ憩いの場



アジア最大規模のワイン審査会 ジャパン・ワイン・チャレンジ 2021 朝日町ワインの2銘柄が金賞を受賞

◆受賞ワイン（写真左から）

【金賞】

リースリングフォルテ&リオン 2020

マイスターセレクションバレルセレクションルージュ 2019 (完売)

【銅賞】

(有)朝日町ワインロゼ

マイスターセレクションシュール・リーセーベル 9110 2020

マイスターセレクションアッサンブラージュルージュ 2019

マイスターセレクション遅摘みマスカットベリーA赤 2019

スパークリングマスカットベリーAロゼ



12月4日、「ジャパン・ワイン・チャレンジ 2021」の審査結果が発表され、朝日町ワインの2銘柄が金賞、5銘柄が銅賞を受賞しました。

ジャパン・ワイン・チャレンジは1997年に設立された国際ワインコンクールでアジア最大規模のワイン審査会の一つ。国内外からエントリーされた多くのワインから、様々な部門ごとにベストワインが選ばれます。第23回となる今大会は世界28ヶ国1,100点を超す出品があり、国内外のワイン業界著名人による厳正な審査が行われました。

金賞を受賞した県産ワインは朝日町ワインの「リースリングフォルテ&リオン 2020」「マイスターセレクションバレルセレクションルージュ 2019」の他に、月山トラヤワイナリー（西川町）と、浜田株式会社（米沢市）から各1銘柄が選ばれました。

この度の受賞を受けて「ぶどう生産組合を始めとした地域の方々に支えられた結果だと考えている。今後も地元産のブドウの良さを引き出した美味しいワインを造っていきたい」と話す(有)朝日町ワインの佐藤丈助専務取締役。前回の初出品から2年連続の入賞を果たした朝日町ワイン、その評価はますます高まっています。



目次 ◎ CONTENTS

- P2 町長歳時記
- P3 Pick Up News
ジャパン・ワイン・チャレンジ 2021
朝日町ワインの2銘柄が金賞を受賞
- P4 特集
出会いづくりを応援します
- P10 町政スポット
・町内の空き家について略式代執行を実施しました
・朝日中学校生徒がエコキャップを寄付 ほか
- P12 まちレポ
・中学生のためのオペラ教室
・クリスマスの郵便局にウサビが登場 ほか
- P14 健康あさひるばんざい
朝日町エコミュージアムサテライト散策
- P15 今月のウサビニュース
- P16 熊谷心さんが県きのご料理コンクール最優秀賞を受賞、町立図書館コーナー、それいけ協力隊とウサビ
- P18 町民の声、山形県市町村広報コンクール「映像の部」で特選受賞
- P19 戸籍のまど、各種スポーツ大会の入賞結果
- P20 収穫感謝祭

表紙の写真



特集内で紹介する結婚相談会会場の「at LOUNGE」を撮影しました。普段は喫茶&カフェスペースとしての営業で、木～土のお昼はスペイン料理ランチ（店名：El Patio de Romero de Torres）が楽しめます（上写真）。場所の地図と内装については7頁に掲載しています。

町長歳時記 (182)

子ども議会

～町を思い考える

そこに故郷の未来がある～

立春も過ぎた2月8日、宮宿小学校6年生の皆さんが、町の議場において「子ども議会」に取り組んでくれました。いつもと違った空気感の中で、一人ひとり堂々と自分の意見を述べ、提案し、質問して下さったその立派な姿に、大変感動いたしました。

特に私が感心したのは「私たちにお手伝いできることはないでしょうか」という自分にできることや関わっていきける課題解決に、積極的にチャレンジしていきたいという姿勢でありました。そんな皆さんが、ふるさと朝日町を愛し、町を支える大人となって活躍し、町民みんなが笑顔あふれる生活をしている。そんな町の実現が、私たちの願いであり夢であります。

「朝日町の未来」について、そして「SDGsと環境問題」について深く掘り下げて勉強して下さったことがひしひしと感じられました。SDGsとは「持続可能な開発目標」であり、持続可能な町を作っていくことが、私たちの究極的な目標であります。今この町で暮らしている人たちはもちろんのこと、私たちの子ども、孫、さらにはその次の代と、持続的に繋がっていく未来の町民のためにも、私たちはこの町を守り伝えて行かなければなりません。これからも起こり続けるであろう多くの課題・問題について判断を迫られた時、拠り所となる判断基準の一つがSDGs「持続可能な開発目標」であります。自分たちさえ良ければいいなどという考えは決してあってはならず、まだ見ぬ将来の町民にとっても持続的に発展できる方策は何なのかをきっちと見極め、判断していかなければなりません。その意味においても6年生の皆さんがSDGs・環境問題に目を向けてくれたことに、大きな意義を感じた「子ども議会」でありました。

この経験が皆さんの将来に大きな実を結ぶことを願っています。

朝日町長 鈴木浩孝

町の支援事業

■ 結婚に関する相談の受付・希望する相手との引き合わせ

【朝日町結婚応援団】

- ・ボランティアで仲人活動（結婚に向けた男女の仲立ち、支援）に取り組まれている方々で構成されています。
- ・月1回相談会を実施。結婚に関する相談・希望する相手の条件を提出してもらい、条件に合う方を紹介。
- ・相談会以外でも応援団個々人が広く相談を受け、意中の相手がいる方への付き合い方などのアドバイスも行います。



結婚相談会の実際の様子

■ イベントを実施し、出会いの場を創出

【朝日町婚活推進連絡会議】

- ・結婚を希望する方が前向きに考えられるように、意識啓発、情報の収集・発信や出会いの場の創出・提供などのサポート活動を行う「地域婚活サポーター」で構成される会議。
- ・婚活支援事業助成金：独身男女各3名以上が参加する出会いの場づくり（食事会や合コン、体験イベント）に対して最大5万円を助成。
- ・婚活イベント参加者成婚お祝い品贈呈：会議が主催するイベントの参加者同士が婚姻した場合、お祝い品を贈呈（5千円相当のカタログギフト）。

村山地域の支援事業

■ 村山地域の市町や民間団体が連携してイベントを実施

【村山広域婚活事業】

- ・毎年5回程度イベントを開催。
- ・イベント本番前にカップル成立に向けた参加者同士の交流と魅力アップを目的とする講座を開催。
- ・カップル成立者への交際継続のための支援（SNSを活用した相談など）。
- ・今年度行われたイベント
フラワーアレンジメント&ちょっと優雅なティータイム（6月）、百年恋する徳良湖 de アウトドア体験（8月）、ヨガリトリート&グランピング（9月）、味噌づくり de 出逢いづくり（10月）



◀町内でも村山広域の婚活イベントを実施。若宮寺で陶芸とカフェを体験（7月）。

山形県の支援事業

■ マッチングシステムを使った1対1の出会いの場の提供

【やまがたハッピーサポートセンター】

- ・センターホームページから会員登録後、センター備え付けのタブレットで相手のプロフィールを検索・閲覧。希望する相手へ引き合わせの申込み後、相手が承諾した場合にセンターで直接会うことができます。
- ・登録条件：県内在住の20歳以上の独身者
- ・登録料：3年間で1万円

※サポートセンターから直接電話での勧誘はくことはありません。センターをかたる不審な電話にはご注意ください。



▼県内の婚活イベント情報も満載のホームページへ



写真：平成26年に行われた空気神社ウェディング

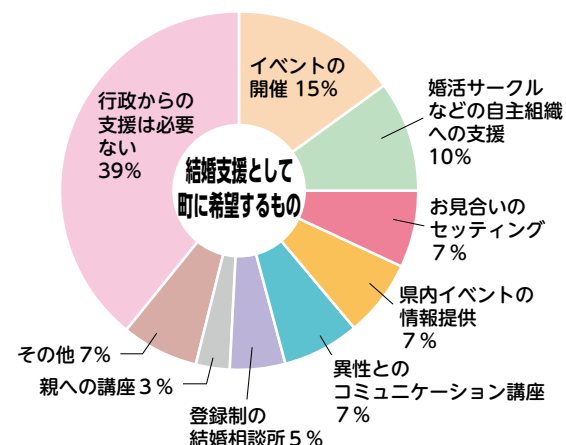
特集 出会いづくりを応援します

結婚したいと考えている未婚者は9割弱

近年、ライフスタイルや恋愛観の変化や経済的な理由などから婚姻率の低下が不安視されています。しかし、国立社会保障・人口問題研究所が平成27年に実施した「第15回出生動向基本調査」によると、いずれは結婚する意志を持つ未婚者（調査対象は18〜34歳）の割合は男性が85・7%、女性は89・3%と年々微減傾向でありつつも、依然として高い水準にあります。

町では「なかなか出会いの機会がない」「自分に合った相手を紹介してほしい」といった方を応援するため、結婚相談会や婚活イベントなどの結婚支援事業を行っています。「コロナ禍でイベントや飲み会などが減っている中、その必要性はますます高まっています。」

そこで今回は町の結婚支援について、支援者の思いや参加者の声を交えながら紹介します。



応援団の紹介で成婚したご夫婦の声



(夫) 私たちは結婚応援団の方と一緒に参加する婚活イベントで出会いました。イベントにはドレスコードがあったのですが、応援団の方が伝え忘れ、私だけ違う服装で目立ってしまい、逆に印象に残ったようです(笑)。そこでは連絡先交換だけで終わりましたが、その後連絡を取り合うようになり交際がスタート。交際中も時折応援団の方に声を掛けていただき、アドバイスとともに背中を押されました。お互い結婚願望があったこともあり、付き合い始めたその年のうちに結婚。今では子どもも生まれ、幸せな毎日を送っています。

(妻) 結婚は、本人の気持ちが一番大事だと思います。当時年齢が30代前半で、出産のことを考えると今年絶対結婚するぞという気持ちでいました。ただ、イベント自体はそこまで期待せず、良い時間を過ごせればいいやという軽い気持ちで臨んだ方が良い結果が出る気がします。10回失敗しても11回目は良い人と出会うチャンスがあると思うので気を張らずに婚活自体を楽しんでほしいですね。

結婚のお悩み伺います「結婚相談会」

「朝日町結婚応援団」が恋愛の悩みから、お子さんの将来やお相手の紹介まで、親身になって相談に乗ります。

【開催日・時間】

毎月1回 土曜日 18:30～20:30

《今年度開催予定日》

令和4年2月19日、3月19日

【対象者】

独身男女、独身の子どもを持つ両親など
(町内、町外を問わず誰でも参加可能)

【相談料】

無料

【場所】

at LOUNGE (宮宿1085番地10) ☎050-5363-9292

▼町ホームページへ



▲相談会場となる at LOUNGE の内装。外観は表紙に掲載

問合せ先

政策推進課総合政策係 (朝日町結婚応援団事務局)

☎67-2112

E-mail: konkatsu@town.asahi.yamagata.jp

結婚相談会の開催、相性の良い相手の紹介 結婚応援団



阿部 真理子さん
(ハツ沼)

何より気持ちが大事
その人が前向きになるような
言葉を掛けていきたい――

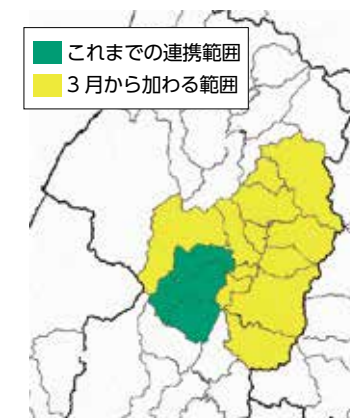
毎月開催している結婚相談会の他にも個別に結婚の相談やその人に合った相手の紹介をしている結婚応援団の皆さん。クリーニング店を営み、営業や集配でいろいろな方のお宅へ行く阿部真理子さんもその1人。阿部さんは仕事柄、親世代の方に結婚の相談を受けやすく、町内外・男女を問わず幅広い範囲で結婚に関する支援をされています。そんな阿部さんに、これまでの活動や結婚に向けて大事なことをお聞きしました。

結婚のためには人と出会って話をしなければ前に進みませんから、相談会や婚活イベント、町外のものでなんでも構いません。人には向き不向きがあり、大勢の人がいる場で話をするのが苦手でも1対1なら話せる人もいます。自分の良さを発揮できる場が必ずあるはずですよ。ご相談をお待ちしています。

また、子どもさんの結婚を心配する親御さん方もいらっしゃるかと思います。私も3人の子どものがいますので心配は分かります。ですが子どもは親に結婚の話をされると反発するもの。経験上、子どもは親以外の人から言われた方が受け入れやすいようです。何人もの方から「マリちゃんの話聞いて子どもがその気になり結婚につながった」との声をいただいています。もちろん、当人に結婚の意思がなければ踏み込むことはしませんが、前向きになれるような言葉を掛けられるような心がけています。

現在コロナで活動が難しい状況にありますが、成婚につながるような意識づけ、情報の提供に努めています。また、3月からは近隣の市町との情報交換が強化(※)され、より幅広い中から紹介できるようになります。

まずは前向きに考え行動することからです。一緒に頑張りますよ。



※これまでの大江町・白鷹町に加え、3月から山形連携中枢都市圏(村山地域7市7町)で活動する応援団(仲人)の間で結婚希望者情報の共有が行われ、他市町の方との出会いの場が広がる。

結婚相談会から結婚までの流れ

相談会に参加し、登録すると左記のような流れで進んでいきます。どの段階でもご本人様の了承あつての支援であり、強制することはありませんので安心してご相談ください。



結婚相談会に参加し、応援団の方と面談。事前に電話で連絡した方がスムーズですが、ふらっと立ち寄ってもOK。



応援団同士で情報を共有し、相談者の情報や希望する相手を元に出会いの場を設定。



2人の同意を下で引き合わせ。ファミレスや喫茶店等カジュアルな場所での出会いの場をセッティングします。



ご本人の希望があれば、交際中も相談をお受けして、サポートします。



末永くお幸せに!新生活を応援する各種支援制度もありますので応援団や政策推進課までご連絡ください。

イベントを支援して出会いを応援 地域婚活サポーター



最近ではコロナ禍ということもあり、仕事場と自宅の往復ばかりで出会いの場がなかったため、町の婚活イベントに参加しました。ラフティングという楽しいアクティビティと一緒に体験することで口下手な私でも自然な形で相手と話を続けることができました。また、サポーターの方からのアドバイスを受け、背中を後押しされたこともあり無事カップリングも成立。今後の関係はサポーターの方のアドバイスを受けながら、自分の力で続けられるようにしたいですね。

ます。そうしてカップルが成立した時はやっぱり嬉しいですね。成立しなかったとしても、イベントに参加したこと、参加前よりも積極的になったり第一印象が変わったりと変化が感じられます。それに何よりイベントに参加した皆さんは楽しそうですね。私の頃にはなかったことなので今の人々をうらやましく思いますし、参加したかったですね(笑)。理想を言うとは婚活がもっと日常的になればいいのかなと思っています。サポーターの立場ではありますが、行政の支援だけでなく今は婚活の手段がたくさんあります。民間の結婚相談所やマッチングアプリ

等々。結婚に対しての積極性があり経験を積んでいければ自分に合った相手と巡り合えるのではないのでしょうか。最後になりますが、地域婚活サポーターは現在4人います。41歳の私が一番年下なので若い世代の方にもサポーターになってもらいたいんです。小林幸子会長(大沼)のようによく背中を押せる方がいる一方、若い感性での提案をバンバンしてくれると魅力のあるイベントに繋がると思います。やりがいのある仕事ですので一緒に頑張ってみませんか？



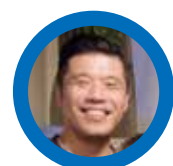
佐藤 拓さん
(栗木沢)

皆さん楽しそうにしている
私の頃にもイベントがあったら
参加したかった(笑)

地域婚活サポーターを始めて3年目となる佐藤拓さん。元々町外出身の佐藤さんは町に溶け込むため何かしたいと考えていました。そうした中、Webデザイナーの仕事で知り合ったウェディング業界の方から紹介があり、「人と人との出会いのお手伝いができるというのは楽しそう」と思ったのが、サポーターになったきっかけと話します。サポーターとしての活動や婚活イベントについて佐藤さんに話を聞きました。

地域婚活サポーターは婚活イベントの企画と意見の提案、イベント当日の参加者への支援の2つが主な活動です。会議で事務局(町政策推進課)から提案された大まかな企画に対して、「こうした方が人が集まる」「この時間をとった方がお互いのことをよく知ることができるんじゃないか」というのを伝えます。イベント当日は運営側から参加者が上手にいくようにサポート。なかなか積極的に話しかけられない方もいるので、背中を押すこともあり

私たちと一緒に出会いのお手伝いをしてみませんか？



佐藤 拓さん



小林 幸子さん



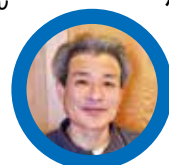
堀 茂さん



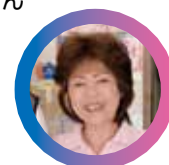
白田 忠一さん



小関 崇夫さん



白田 潔さん



阿部 真理子さん



安孫子 美佐子さん



海野 義弘さん

結婚応援団・婚活サポーター大募集！

結婚応援団 …活動内容：結婚相談会・仲人活動
条件：町内在住で30歳以上の既婚者

婚活サポーター …活動内容：イベントの企画・当日の支援
条件：町内在住でやる気さえあればどなたでも

〈問合せ先〉 政策推進課総合政策係 ☎67-2112

- 結婚応援団
- 地域婚活サポーター
- 両方で活動している方



◀3月に計画していたイベント。コロナ禍のため中止となりましたが、来年度実施を目指しています。

ラフティングにリンゴの収穫、町独自の婚活イベント



平成30年度開催
「りんごも恋も収穫してみませんか？」



令和3年度開催「恋するラフティング」



※イベントの写真ではなくイメージです

町では、結婚応援団・婚活サポーターの皆さんの力を借りし、結婚を希望しながらも一歩を踏み出せないでいる方への後押し、サポートを行ってきました。今後もコロナ禍でも行えるイベントの開催や、他の市町村と連携した活動を続けていきますので、興味のある方は一度参加してみたいかがでしょうか。「異性の友達を作りたい!」「運命の人を探したい!」という方の参加をお待ちしています。



政策推進課
佐竹 佑斗 主任

東北U・Iターン相談会に出展し、首都圏に町の魅力をPR

■政策推進課 地域振興係 ☎67-2112



相談ブースには町移住コンシェルジュの阪野正義さんも参加

1月9日、東北での暮らしに興味のある方へ向け「第4回東北U・Iターン相談会」が東京都内で開催され、当町ほか東北6県から約80の自治体や関係機関が出展、200人を超える方が来場しました。



先輩移住者として移住後の取り組みを紹介した佐藤さん

この相談会は認定NPO法人ふるさと回帰支援センターが主催。当日は新型コロナウイルス感染症対策として換気や消毒などの対策をとりながら、各自治体の相談ブースのほか、特産品のプレゼント企画、東北各地をオンラインでつないだトークリレーなどが行われました。トークリレーでは先輩移住者として「ウサビの中

朝日町豪雪対策本部を設置

■総務課 危機管理係 ☎67-2111

1月19日、午前9時現在、立木地区で128センチメートル、宮宿地区で100センチメートルの積雪を記録。町内でも除雪作業中の事故が



積雪で倒木があった町道前田沢・下芦沢線

発生し、町民生活への影響が予想される事態となったことから、同日午前9時30分に豪雪対策本部（本部長：鈴木町長）を設置しました。町民の皆さんには、屋根の雪下ろしや除雪作業中の事故防止、果樹等農作物の適正管理をお願いします。特に高齢の方や一人暮らし世帯など、除雪や日常生活で困り際には、担当の民生児童委員や区長までご相談ください。

つや姫食味コンクール 堀吉和さんが最優秀賞

■農林振興課 農政係 ☎67-2114

J Aさがえ西村山等が主催し、今回で12回目を数える「つや姫」食味コンクール。その審査会が12月7日、寒河江市内のJ A本所で行



われ、堀吉和さん（大谷第七）が個人の部で最優秀賞を受賞しました。受賞を受けて堀さんは、「コロナ前から県内外の有識者の方のお話を聞き、耕運方法の改善等に取り組んできた。今後も質が良く効率的な農業を実践し、将来的には子どもたちに後を継いでもらって他の地域に負けない農家を目指していきたい」と意気込みを語っていました。

町内の空き家について略式代執行を実施しました

■総務課 危機管理係 ☎67-2111



空き家解体前に略式代執行の宣言を行う町職員

※特定空家等とは
空き家の中でも、特に危険性が高いと認められ、朝日町空家等対策協議会が認定したもの。行政からの様々な措置が可能となります。

令和4年1月、町内にある空き家について、略式代執行（町の全額負担により、町が解体を行うこと）が行われました。本来、空き家は個人の資産であるため、所有者が維持管理を行う必要があり、町で解体を行うことはありません。この度のケースは、次の理由により略式代執行を実施しました。

①倒壊等の危険性が著しく高いため、「特定空家等（※）」に認定されている。
②建物が国道及び町道の近くにあり、通行者に危険を及ぼす可能性が極めて高い。
③建物の半分近くが崩壊しており、早急に対処する必要がある。
④建物の所有者等を確知することができない。

朝日中学校生徒がエコキャップを寄付

■教育文化課 学校教育係 ☎67-3302



朝日中学校では生徒会活動の一環で、地域に呼びかけて集めたペットボトルのキャップを株式会社山形銀行宮宿支店（尾形真店長）に寄贈する活動を行ってきました。キャップは同銀行の社会貢献活動の一環でリサイクルされ、その収益金で開発途上国の子どもたちにワクチンが提供されます。約67キロ（約2,870個）のキャップをリサイクルすることで1人分のワクチンを購入でき、開発途上国の子どもたちの命を救うことができます。



今年度は、581キロのキャップを回収。12月24日には、同銀行で贈呈式が行われました。式では、尾形店長から「皆さんから集めていただいたキャップで86人分のポリオワクチンに交換することができます。今後もこういった社会貢献活動を通してより良い社会にしていきたいです」とあいさつ。生徒代表の佐久間淳乃さんは「山形県の小さな町の中学生でも遠く離れた国の人々を助けられるという実感が持てました。この活動は山形銀行さんを始めて多くの方々の協力のおかげで実現できました。感謝の気持ちでいっぱいです」と話していました。



▲米にこうじ菌を混ぜる作業 ▶材料を混ぜ合わせ機械でミンチにして容器に保存



1/14
18

おいしいと毎年大好評の手作り講座 みんなでみそづくり講座

町農業委員会の女性農業委員が企画・指導する「みそづくり講座」が1月14日と18日の両日に西部公民館で行われ、11人が参加しました。女性農業委員の認知度・地位の向上等を目的に実施し、今年で5年目。1日目はふかした米にこうじ菌を混ぜて米こうじをつくり、2日目には米こうじと大豆、塩をミンチにしてみそを仕込みました。参加者は「昨年のみそが家族にも好評ですぐに無くなってしまったので、今年は2容器分作ります」と話していました。仕込んだみそは、常温で保存して熟成させ秋口に食べ頃になります。



◀▲蜜ろうを湯せんして混ぜながら耐熱容器へと入れる参加者

1/20

町立公民館文化講座「くらしに彩りを。」 蜜ろうハンドクリームづくり

1月20日、秋葉山交遊館で「蜜ろうハンドクリームづくり」が行われ、14人が参加しました。講師は蜜ろうの専門家であるハチ蜜の森キャンデルの安藤竜二さん（大谷第一）。このハンドクリームは、手荒れで悩む方に大好評で、多くの方がこの教室を楽しみにしています。蜜ろうとオリーブオイルを湯せんしながら混ぜ合わせ、冷まして固まるとハンドクリームが完成。参加者は「自然素材だから調理するときも安心して塗れるので重宝しています」と話していました。



▲意外と力の調整が難しく、場が盛り上がった「狙って狙ってチューブそり」



1/23

楽しい雪遊びでゲレンデに笑顔の花咲く Asahi自然観スキー場まつり

1月23日、Asahi自然観スノーパークで「スキー場まつり」が開催され、多くの親子連れ等で賑わいました。スキーやスノーボードだけでなく、チューブそりに乗った1人をもう1人が押してカーリングのように狙った範囲に止める「狙って狙ってチューブそり」や雪玉を投げたお菓子を倒せばお菓子がもらえる「キッズ雪玉射的!」等小さなお子さんから楽しめる雪あそびも盛りだくさん。この日は桃色ウサヒも登場し、来場者の笑顔があふれる楽しい1日となりました。



1/26

先達に学び、技術を自分の物とする 和合果樹組合「剪定講習会」

1月26日、和合地内のリンゴ園地にて和合果樹組合が主催する剪定講習会が行われ、生産者約30人が参加しました。この講習会はリンゴの剪定技術の底上げと品質向上を目的に毎年この時期に開催されているものです。講師は約30年間の長きにわたりこの講習会で剪定技術を指導し、町のリンゴ産業に尽力している鈴木治男さん（沼向）。鈴木さんは「10聞いたものをすぐ覚えることは難しいので、ここでは1を覚えて、その1を積み重ねて10にしていってほしい」と話し、後進の成長を期待しました。



◀DVDでは今井さんがイタリアの劇場で演じたこともある「カルメン」を鑑賞

12/23

教養を深め豊かな人生を 中学生のためのオペラ教室

12月23日、朝日中3年生を対象に町在住のオペラ歌手今井倭子さん（前田沢）を講師に迎えて「中学生のためのオペラ教室」が行われました。3年に1度開催のオペラコンサートがコロナ禍のため中止になり、3年生はオペラに触れずに卒業となるため、この教室の開催が決まりました。授業では今井さんによる解説を交えたDVD鑑賞の後、『ドン・ジョヴァンニ』第2幕より「薬屋の歌」を生で披露。本物のオペラに初めて触れた生徒たちは「勉強に疲れたときはオペラを聞いて受験を乗り越えたい」と話していました。



▶自分がラッピングされたポストの横に立ち、道行く人にアピールするウサヒ

12/24

郵便局×ウサヒコラボ クリスマスの郵便局にウサヒが登場

クリスマスイブである12月24日、宮宿郵便局（佐藤徳治局長）にウサヒが登場し来場者にお菓子等を配布しました。これは郵便局に親しみをもってもらおうと全国的に行われた「郵便局サンタ47」という企画の一環。SNS等を見て会いに来たというウサヒ好きの方が現れたり、外からウサヒが見えたからと来店した方がいたり広告塔としての役割を十二分に発揮したウサヒ。佐藤局長は「多くのウサヒ好きがやってきてくれて企画は大成功。今後もウサヒとコラボした企画を実施していきたい」と話していました。



◀霜害の影響で例年に比べ数量が減ったもののコンテナ約400箱を用意

12/27

雪中で熟成させ、春を待つ 「雪りんご」準備作業

秋に収穫した町特産のリンゴを、雪中で保存する「雪りんご」の準備作業が12月27日にAsahi自然観駐車場で行われました。春先でもパリパリのリンゴを提供しようと、平成21年から取り組んでいるもので、雪りんご研究会（志藤修治会長／栗木沢）の会員ら約20人が参加。雪をかき分けてスペースを確保し、コンテナを重ねて雪で覆いました。志藤会長は「雪が少なく心配していたが、当日に雪が降ってホッとしている」と話します。雪りんごは4月上旬に掘り出し、道の駅あさひまち「りんごの森」等で販売予定です。

ホームページに写真



▶団子を手の平で転がし上手に丸める園児たち

1/11

自分たちの手で色とりどりの団子木をつくる あさひ保育園「小正月の団子下げ」

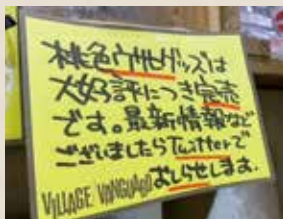
1月11日、あさひ保育園で毎年恒例の「団子下げ」が行われました。団子下げは東北地方の伝統的な小正月行事で、ミズキの木に団子やふなせんべい（鯛や小判、小槌などを模したお菓子）で装飾し、作物などの豊作と家内安全、無病息災を願うもの。家族の健康や新型コロナの収束を願いながら、団子を丸くこね、ふなせんべいや折り紙で手づくりした獅子舞やだるまの飾りとともに丁寧に飾り付ける園児たち。色とりどりに出来上がった団子木を見た園児たちは歓声を上げていました。

ウサヒ×ヴィレッジヴァンガード まさかのコラボ！大人気即日完売



1月22日、桃色ウサヒと株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション（代表取締役社長白川篤典／愛知県）とのコラボグッズが販売されました。同社は「遊べる本屋」をキーワードに全国に334店舗（2021年5月31日現在）を展開している、本や雑貨、CDやDVDを融合的に陳列して販売する小売店。若者を中心に幅広い層に支持されています。コラボグッズはイオンモール天童、イオンモール三川内にあるヴィレッジヴァンガードにて販売。天童店では当日の正午を待たずに完売となる

『ウサヒがいる生活』をコンセプトに日常でもさりげなく使えるアイテムをメインに考えました。ウサヒの個性である虚無感を最大限に引き出せるようインパクトのあるデザインにしました。今回の反響を受け桃色ウサヒを、そして山形を愛する方がたくさんいることを改めて実感いたしました。皆様の期待にお応えして、2月下旬ごろ販売店舗拡大、オンライン受注生産での再販が決定いたしました！続報は弊社ツイッターでお知らせいたします！」



完売を知らせるポップ（天童店）

など、多くの反響がありました。

このたび、今回のコラボを企画した同社の担当の方からコメントをいただきました。

「ウサヒとの出会いは東北芸術工科大学の文化祭。普通のかわいいゆるキャラとはどこか違う虚無感、謎、人間らしさを感じ、ウサヒの溢れる魅力を知ってもらいたいと思いコラボに至りました。今回のグッズは『ウサヒがいる生活』をコンセプトに日常でもさりげなく使えるアイテムをメインに考えました。ウサヒの個性である虚無感を最大限に引き出せるようインパクトのあるデザインにしました。今回の反響を受け桃色ウサヒを、そして山形を愛する方がたくさんいることを改めて実感いたしました。皆様の期待にお応えして、2月下旬ごろ販売店舗拡大、オンライン受注生産での再販が決定いたしました！続報は弊社ツイッターでお知らせいたします！」

今月のウサヒニュース

不定期掲載



悩みがあったら気軽にご相談ください！

あさひまちペアレントサポート講座

【令和3年度 第10回】

今月の担当…柴崎 百子 保健師



2月は暦上で春の始まりであり、1年の始まりとされています。とはいえ雪はまだまだ多く寒さも厳しいため、実際の春は遠く感じます。ですが、節分やひな祭りなどこの季節ならではの行事や食事がたくさんありますので楽しんでお過ごしください。

さて、昨年町では「あさひまちペアレントサポート講座」を初めて開催しました。この講座は、「子どもの行動を見めるポイントや良い行動を見つけていく」というものです。対象者は未就学児の保護者の方で、4日間のコースで講義とグループワークを行います。グループワークでは、保護者の方が普段過ごしている中で感じた子どもの良いところ、頑張っているところなどを話し合います。子どもとの関わりに悩んでいる方だけでなく、他の保護者と話してみたいなどの理由の参加も大歓迎です。この講座は今後も年1回のペースで開催する予定です。一緒に褒めるポイントや

コツを学んでみませんか？講座の中で話したことは外に漏れることはありませんので、安心して参加ください。

今回は子どもとの関わりについてのお話しでしたが、仕事や育児など多忙な日々を過ごされている保護者の方々も多いと思います。保護者の方の身体やこころの休息はできていますか？保護者が健康でいることは子どもたちのためにも大切ですので適宜リフレッシュしていきましょう。

最近、家族や友人、保育園や幼稚園の先生、SNSなどさまざまな相談場所があります。ぜひこの講座や保健師も相談相手として活用していただければと思います。

▼問合せ先

健康福祉課 保健医療係

☎ 67・2116



町全体が博物館！

朝日町エコミュージアム サテライト散策



【一言メモ】写真はビューポイントからの眺め。四季折々の景色が眺められる。

第52回 最上川ビューポイント

【DATA】 主要地方道長井・大江線、川通口バス停より南西に0.7 km 入った所の道路脇に標柱あり。

平成10年度、山形県が「母なる川・最上川」への関心と愛着を深めることを目的として、最上川の良い眺めを得られる地点を公募し、県内外から寄せられた258件129ポイントの中から、最上川ビューポイント選定委員会により選定された11景の一つに朝日町玉ノ井が選ばれています。中州が点在し、最上川が変化にとんだ流れを見せてくれ、アーチ型の新日明鏡橋がアクセントになり、素晴らしい眺めです。

和合側の切り立った岸壁を見ると、五百川峡谷の中に川が流れていることが分かり、波立つ瀬からは、川が水を浄化している様子が見えるよ。写真左岸手前にはカヌーランドの「タンの瀬」があり、カヌー愛好家の姿も見られるんだ。明鏡橋の下までフットパスが整備されていて、途中に石切場跡などもあり最上川を身近に感じられる場所なんだよ。

案内人の
つぶやき



熊谷心さんが県きのご料理コンクール最優秀賞を受賞

12月11日、山形県山菜・きのご振興会が主催する令和3年度山形県きのご料理コンクールが天童市で行われ、熊谷心さん（小原）が最優秀賞・県知事賞を受賞しました。

同コンクールには県内の高校から52点の応募があり、書類審査で5人が選出。本審査では実際に調理を行い、審査員4人の試食により受賞が決定しました。熊谷さんは「ヘルシー!!クセになるまいたけぎょうざ」と題し、ぎょうざの皮の代わりに大根を使った料理を考案。今回の受賞を受けて、「受賞後は今までも台所に立つ機会が増えた。今後も皆さんにおいしいと思ってもらえるようなレシピを考えたい」と話す熊谷さん。

本来であれば熊谷さんは、3月9日に東京都で行われる第34回きのご料理コンクール全国大会に県代表として出場する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、現地の方が代理で調理を行う予定となっています。



ヘルシー!!クセになるまいたけぎょうざ
 〈材料（4人分）〉
 まいたけ…100 グラム 大根…200 グラム
 しいたけ…30 グラム ツナ水煮缶…35 グラム
 じゃがいも…120 グラム
 たまねぎ…80 グラム
 塩こしょう…適量 マヨネーズ…少量
 サラダ油…適量
 つけだれ…酢・醤油・柚子胡椒・ラー油

- 〈作り方〉
- ① 大根を薄く切って茹で、冷やしておく。
 - ② じゃがいもを6〜8等分に切り、電子レンジで温めてやわらかくして潰す。
 - ③ まいたけ、しいたけ、たまねぎをみじん切りにする。
 - ④ ツナ缶の水を良く切っておく。
 - ⑤ フライパンにサラダ油を引き、③と④をたまねぎに焼き色がつくまで炒め、塩こしょうとマヨネーズを加える。
 - ⑥ ②のじゃがいもを⑤に入れ、良くかき混ぜる。
 - ⑦ 大根に⑥を挟んでくるむ。
 - ⑧ ⑦を両面に焼き色がつくまでフライパンで焼く。
 - ⑨ そのままで食べてもよいし、つけだれで食べるのもよい。



町地域おこし協力隊と桃色ウサヒの「中の人」こと、佐藤恒平情報交流総合アドバイザーによる連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。

「ウサヒのダンスをアイドルとリニューアル」



情報交流総合アドバイザー 佐藤恒平（福島県出身）

した。彼女にウサヒのPR活動サポーター「通称・ウサンバサダー」をお願いし、創遊館でプロモーションムービーの撮影を行いました。僕も小学生のころに見ていた、ガチャピンが出てくる朝のテレビ番組っぽい雰囲気仕上がりしています。

また、踊り方のレクチャー動画も作ろうと2月に山形市で再撮影も行って、合計で2つのムービーを作成しました。どちらの映像もウサヒのユーザーブチャンネル「桃色ウサヒチャンネル」でご覧いただけますので、ぜひご視聴ください。皆さんからの踊ってみたというご報告もお待ちしております。

特 別
拡大版

町立図書館のご案内



■ 2021 年 町立図書館 貸出しランキング 【一般書 TOP 5】

タイトル／著者	出版社
1 推し、燃ゆ／宇佐見りん	河出書房新社
2 元彼の遺言状／新川帆立	宝島社
// 52 ヘルツのクジラたち／町田そのこ	中央公論新社
4 月下のサクラ／柚月裕子	徳間書店
// 志麻さんの台所ルール／タサン志麻	河出書房新社

【児童書 TOP 5】

タイトル／著者	出版社
1 パンどろぼう vs にせパンどろぼう／柴田ケイコ	KADOKAWA
// パンどろぼう／柴田ケイコ	KADOKAWA
3 あかいしろくま／柴田ケイコ	PHP研究所
// ぱぱんがパン！／柴田ケイコ	アリス館
// いちにちじごく／ふくべあきひろ	PHP研究所

※同順位はタイトルの50音順で掲載

ピックアップ！おすすめの既刊 など

「パンどろぼう vs にせパンどろぼう」

柴田 ケイコ 作
KADOKAWA



世界中のおいしいパンを探し求めるパンどろぼうは、パン屋のおじさんに諭されて、立派なパン職人になりました。ところが、世界一おいしい森のパン屋に、またしても事件の予感が…「パンどろぼう」の続編



特 集
2021 年 町立図書館
「貸出しランキングTOP 20」

【今月のブックテマコーナー】
 2021年、朝日町立図書館で最も読まれた本ベスト20を、一般書「児童書」それぞれ紹介。

新刊案内

第166回直木賞受賞作
「塞王の楯」

今村 翔吾 著
集英社



決して破られない石垣を造ろうとする石工の匠介。しかし、そこに立ちふさがるのは、どんな守りも打ち破るという彦九郎の砲。大津城を舞台に、信念をかけた職人の対決が幕を開ける。「小説すばる」連載を単行本化。

第166回直木賞受賞作
「黒牟城」

米澤 穂信 著
KADOKAWA



織田信長に叛旗を翻して有岡城に立て籠もった荒木村重は難事件に翻弄される。村重は、土牢の囚人にして織田方の軍師・黒田官兵衛に謎を解くよう求めた。事件の裏には何が潜むのか。「カドブンノベル」他掲載に加筆修正。

【その他の新刊】

- ▼同志少女よ、敵を撃て／逢坂冬馬
- ▼青天を衝け4／豊田美加
- ▼チンギス紀 12 不羈／北方謙二
- ▼滅私／羽田圭介
- ▼またあかつ・しゃばけ外伝／畠中恵
- ▼愛に始まり、愛に終わる・瀬戸内寂聴108の言葉／瀬戸内寂聴
- ▼おわかれはモーツァルト／中山七里
- ▼その日まで／瀬戸内寂聴
- ▼特許やぶりの女王・弁護士・大鳳未来／南原詠
- ▼御坊日々／畠中恵
- ▼愛子の格言／佐藤夢子
- ▼吾妻おもかげ／梶よう子
- ▼ヤングケアラー・介護する子どもたち／毎日新聞取材班
- ▼100万回死んだね／覚え違いタイトル集／福井県立図書館
- ▼世界を変える100の技術・2030年を予測／日経BP
- ▼60歳からのスマホ品格レッスン・初心者向け／増田由紀
- ▼リュウジ式至高のレシピ・人生でいちばん美味しい！／リュウジ
- ▼希望の一滴・中村哲、アフガン最後の言葉／中村哲
- ▼青風の庭にすわる。「日は好日」物語／森下典子
- ▼鎌倉殿の13人・北条義時とその時代・発酵白菜レシピ・からだにおいしい魔法のつくりおき／重信初江
- ▼火狩りの王 外伝 野ノ日々／日向理恵子
- ▼ほしいだけほしいはあ／おにたじいはいちだじい／石川基子 ほか

Births		すこやかに		
区 名	出生児氏名	性別	保護者名	
助ノ巻	齊 藤 柊 亜	男	裕弥・弘美	
本 町	飯 野 文 音	女	意彦・真由美	
緑 町	本 田 健 翔	男	秀一・悠	
四ノ沢	清 野 響 矢	男	輝文・美有紀	
前田沢	清 野 恭 矢	男	隼次・里紗	

Marriages		おしあわせに	
細 谷 浩 司 (宇津野)		安 孫 子 楓 (寒河江市)	
白 田 常 次 (常 盤)		佐 竹 由 香 理 (太郎第一)	
今 野 敬 太 (大 町)		沖 田 響 (大江町)	
登 坂 尚 高 (ハツ沼)		村 山 夏 渚 (大 町)	
鏡 拓 馬 (寒河江市)		鈴 木 康 水 (ハツ沼)	
清 野 仁 (大谷第五)		島 貴 加 奈 子 (川西町)	

Obituaries		やすらかに		
区 名	死亡者氏名	世帯主名		
長 沼	阿 部 悟	憲 幸		
常 盤	白 田 吉 藏	光 子		
西 町	鈴 木 三 郎	た か 秀		
大谷第四	東 三 郎	勝 裕 二		
沼 向	長 佐 芳 博	さ だ 勉		
沼 向	岡 崎 喜久子	孝 一		
夏 草	白 田 たまよ	真 一		
大谷第二	大 谷 はつゑ	とめ子		
大谷第二	分 村 幸 弘	江美子		
元 町	阿 部 康 子	浩 八重子		
大谷第七	村 山 幸 夫	明 子		
常 盤	阿 部 幸 子	圭 人		
大谷第五	島 山 幸 子	光 廣		
真 中	阿 部 絢 し	紀 恵美子		
新 宿	安 藤 林 部 司	進 一		
大 沼	小 阿 白 菅 井	ふ きぬよ		
大 沼	菅 阿 井 藤	やすの		
宿 向				
沼 栄				
大 町				
大 町				

今月号のとなりのリンゴさんは
お休みします

各種スポーツ大会の入賞結果

■第25回朝日町民柔道大会(12月19日／町民武道館)

◆小学3年生以下の部

①阿部太陽（3年／常盤）②布施志乃（3年／松程）

③多田聡（2年／大町）③浅岡優作（2年／緑町）

敢闘賞 芳賀奏大（1年／西根小）

◆小学4年生以上の部

①熊谷蓮（6年／緑町）②石塚那緒也（6年／四ノ沢）

③阿部陽菜（6年／常盤）③芳賀丈慈（5年／西根小）

敢闘賞 布施穂（6年／松程）

◆中学生以上 女子の部

①海野真穂（緑町）②海野結菜（緑町）③菊地舞（西町）

◆中学生以上 男子の部

①長岡大聖（常盤）②西澤峻（西原）

③渡辺優（大谷第二）③阿部蒼空（常盤）

広報誌で、ふるさとのぬくもりを

町外在住者の広報誌定期購読を受け付けています。

「町外に住んでいるけど朝日町の情報が欲しい…。町では広報誌の定期購読制度を設け、こうした声にお応えしています。遠方にお住まいのご家族や親類の方々にご紹介ください。



▶料 金 年間1,680円（1ヵ月あたり140円）

▶申込み方法

下記へ電話、メール等でお申込みください。後日郵便払込取扱票をお送りします。

▶申込み先 政策推進課 ☎0237-67-2112
E-mail inform@town.asahi.yamagata.jp

Population

人口と世帯数

●令和4年 1月31日 現在

※（ ）内は先々月比

人 口 6,348人（－30）

男 3,149人（－11）

女 3,199人（－19）

世帯数 2,365世帯（－3）

----- 12月～1月中の異動 -----

出生 5人 転入 21人

死亡 24人 転出 32人

（※外国人を含む）

みなさんからのおたよりなどで作るコーナーです。

町に対する意見や要望、質問、提案などをお寄せください。
無記名での投書に対しては、事実関係の確認が難しく、
回答できない場合もありますので、ご了承ください。

〒990-1442 朝日町大字宮宿 1115 番地
朝日町役場 政策推進課 広報ブランド係 ☎67-2112
メール／inform@town.asahi.yamagata.jp

VOICE

町民の声



高齢者にもやさしい北部診療所に、
手すり等の設置をお願いします。

今 まで十数年間と診療を受けてきた北部診療所。最近、杖一本の支えでは頼りなく、転倒等のけがの危険があり毎月の通所が心配になっています。そこで安心して通うことができるよう診療所の玄関等につかまれる物や手すり等を付けていただきたいと思います。



北 部診療所をご利用いただきありがとうございます。このたびは、ご不便をお掛けし申し訳ございません。本診療所が併設されている大谷第五公民館につきましては、来年度、同区で改修を計画しています。今回ご意見をいただいた玄関部分の改修を含め、トイレの男女別化・洋式化や待合室へのエアコン設置等が予定されておりますが、いずれも公民館と診療所の共用となるため、区と町（病院）とで協議しながら準備を進めているところです。今回のご意見を受け、今後さらに協議を重ね、高齢者の利便性に配慮した診療所になるようあらためて努めてまいります。ご理解とご協力よろしくお願いいたします。

【町立病院】

※町民の声では、回答をご希望の場合、事実や状況を正確に把握するため、ご連絡先の記入をお願いします。未記入の場合、回答できかねますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

山形県市町村広報コンクール「映像の部」で特選受賞



朗らかすぎる！とSNSで話題に

動画はこちらから



入選2席に選ばれています。広報活動に対する町民の皆様のご理解とご協力に対し、あらためて感謝申し上げます。

「山形県市町村広報コンクール」の今年度の審査結果が2月上旬に発表され「映像の部」で「R3年度『朝日川溪流まつり』のご案内【中止】」が特選を受賞しました。本作品は今後、日本広報協会が主催する全国広報コンクールへ推薦されます。受賞した作品は、新型コロナウイルス感染症の影響で2年続けたの中止となった朝日川溪流まつりの魅力を鈴木町長と桃色ウサヒが紹介するもの。今年度からつながり創出推進員として活動している田岡知曉さんが動画を編集しました。中止の案内をあえて動画でお知らせすることで、町の明るく朗らかな面を全国にPRしています。審査では「溪流まつりの中止」というマイナスイメージのテーマを見事に裏切った企画で、逆に朝日町をPRするというテーマ設定が見事。コロナ禍でも朝日町が元気だということが伝わってくる」との評価を受けました。そのほか、広報紙の部（町村部）で当紙7月号（ラフティングの特集）が入選2席に選ばれています。



5年生として最後の披露となった豊年太鼓



米の品種による味の違いや炊き方等調べたことを発表



田んぼの先生へ感謝の手紙を朗読

1月26日、宮宿小学校5年生26人が、体育館で収穫感謝祭を行いました。総合学習の一環として田植えから収穫まで一年を通して体験。これまでの活動の集大成となるこの日は、まず全員で豊年太鼓を披露。力強い太鼓の音が収穫の喜びを表しているようでした。その後、それぞれが米について調べて用紙にまとめた成果を発表。メインイベントである餅つきでは感染対策を実施しながら6つの杵を使い、代わる代わる餅をつきました。ついた餅は納豆餅やきなこ餅、雑煮餅として調理され、子どもたちは何度もお代わりをして、収穫の喜びを味わっていました。



収穫感謝祭

春夏秋冬
編集後記

特選をとった動画が
好きすぎて
10回は視聴しました

今回は、コロナ禍により出会いの機会が減少し、その必要性が高まっている結婚支援について特集しました。「行政が関わっている婚活はちょっと…」という声があるのからこそその安心感やサポート体制もあると思います。このたび支援に関わっている方のお話を聞いてあらためてそう感じました。気になる方は試してみませんか、1度参加してみたいかがでしょうか。

気が付けば今年度も残り1か月半を切り、あっという間に1年間が過ぎようとしています。広報紙担当としては県の広報コンクルの結果(18頁に掲載)が発表されると年度の終わりを意識してしまいます。コンクールでは広報紙の部で入選2席、映像の部で特選と素晴らしい評価をいただきました。いつもご協力いただいている町民の皆さまのおかげと思っています。ありがとうございます。鈴木 貴典